

全国ナイスハートバザール 2019 in 鹿児島

(令和元年度民間社会福祉事業助成費補助金「就労系施設生産活動促進事業」)

全国
NHB

【主催者】

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会
認定特定非営利活動法人 日本セルフセンター
鹿児島県社会就労センター協議会

【実施主体】

鹿児島県社会就労センター協議会

【共 催】

九州社会就労センター協議会
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会
一般社団法人 かがしま障害者共同受注センター

【協 力】 山形屋

【後 援】

鹿児島県、鹿児島市、鹿児島県共同募金会、鹿児島県知的障害者福祉協会、鹿児島 県手をつなぐ育成会、南日本新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、福祉新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ放送、KKB 鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島

【開催日程】

2020(令和2)年2月27日(木)～3月1日(日) 開催日4日間

【開催場所】 山形屋1号館6階大催場および2号館1階玄関前(イベント広場)

【参加対象】 全国の障害者就労支援事業所等

【販売形態】

- (1) レジスターで会計を行う集中レジ方式
- (2) 全ての商品にバーコードを付け、商品売上げを管理。参加決定後、バーコードシールを送付し、各施設で商品に添付してもらう。

(3) 販売手数料

・直接販売(手数料:売上げの15%)

参加事業所が会場に係員を派遣し、商品の搬入、搬出、陳列、集客、接客を行う販売形態。直接販売は、毎日1人以上の販売員を派遣する。

・委託販売(手数料:売上げの25%)

参加事業所が職員を派遣せず、商品の販売を委託する販売形態(県外施設のみ)。

※令和元年度被災を受けた施設は無料。(対象:九州北部豪雨、台風15号、19号など)

(4) スペース料 売台1台分(150cm×75cm)につき2,200円(税込)

【参加施設数】 56施設

【総売上】 5,999,911円

【来場者数】 約6,000人

【売上商品ベスト5】(県外のみ)

	施設名	商品名	売上額
1	ワークショップあさひ	長崎カステラ3本セット	98,000円
2	いわて障害者就労支援振興センター	岩手のうまい炊き込みご飯 たこめし	41,200円
3	コリアンダーの家	だしパック	40,600円
4	サポートハウス明星学園	ブルーベリーワイン	32,300円
5	ながさきワークビレッジ	ブルーとヘルシーばあむくーへん	28,600円

【特徴】

地元の老舗百貨店である「山形屋」の全面的な協力をいただき、1号館6階の大催事場(全面)と、2号館1階玄関前(野外・アーケード)で開催。広大なスペースを有効活用し、ボリューム感あふれるイベントとなりました。県単でのバザー同様に、会計は山形屋のレジを使用し、百貨店スタッフが担当。クレジットカードや商品券などの複雑な支払いにも対応するため、高額商品の購入にもつながりました。

広報活動も積極的に展開しました。A3二つ折りサイズのチラシ(来場者への配布用)を5,000枚作成するほか、約27万部発行のフリーペーパー「リビングかごしま」に広告を掲載。この他にも山形屋独自のテレビCMや新聞広告(催事イベント告知)などを出稿してくれたため、大きな反響がありました。多彩な催しや、4施設共同による軽食喫茶コーナーの設置、お茶ソムリエによる実演なども、広い会場ならではの有効的な取り組みでした。

[illegible]

PR



家庭と仕事を両立し輝ける場所 /

ワンチームで子どもたちの 成長をサポート!

香山教室 前田 千佳先生、明和・千原教室 九町 木崎先生に聞きました!

九町先生 子どもの学習姿勢を大切にし、きつかけとは?

学習を通じて子どもの成長をサポートすることは、私たち先生にとっても大切な仕事です。子どもたちはまだ、先生として指導する立場にありません。子どもと先生が共に成長する姿を大切にしたいです。子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

公公式学習について

前田先生 公公式学習は、よい学習習慣を身に付けて、生活習慣と学習習慣を同時に身につけることが目的です。公公式学習は、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

くもんの先生にうたえたいことは?

くもんの先生は、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

公公式学習について

前田先生 公公式学習は、よい学習習慣を身に付けて、生活習慣と学習習慣を同時に身につけることが目的です。公公式学習は、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

くもんの先生にうたえたいことは?

くもんの先生は、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

公公式学習について

前田先生 公公式学習は、よい学習習慣を身に付けて、生活習慣と学習習慣を同時に身につけることが目的です。公公式学習は、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にし、きつかけをすることが大切です。

[illegible]

初めての取り組みとして、市内最大の発行部数（約27万部）を誇るフリーペーパー「リビングかごしま」の表4に半ページ大の大きな広告を出稿しました。市内の家庭に全戸配布される媒体のため、これを見てバザーに来てくれたお客様も多かったそうです。



▲新鮮な野菜をお買い求めになるお客様もたくさんいました。



▲注目を集めていたブルーベリーワイン



▲木製工芸品の陳列コーナーでは木の仕器が販売されていました。



▲南国名物の黒砂糖やピーナツなどを絡めた「うんがら豆」(黒糖菓子)。



▲さまざまな陳列が可能なのが、百貨店での開催イベントならではの。



▲豆菓子やきりぼし大根なども、高齢者には人気の。



▲和風だしパックやハーブのお塩も、いつも人気が集まる商品です。



▲とくしま障害者就労支援協議会のawanowa スウィーツ。



▲館内のあちこちに設置されていた天井ポスター

◀テレビの取材に対応する鹿児島県社会就労センター協議会の松久保会長。

▶会場にはテレビの取材クルーも来ていたため、華やかな雰囲気になりました。他県から店員スタッフを派遣して参加してくれた施設（岩手県、宮城県、徳島県、長崎県）はとくに、「鹿児島へようこそ！」という切り口で、優先的に取り上げてくれました。



▲レジ係は、山形屋のスタッフが担当しました。



◀ふんわりと柔らかなホテルブレッドは、パン好きのお客様へのイチオシ商品。ほんのり甘い生食パンのような食感が大人気で、あっという間に売り切れてしまうほどでした。



▶2号館玄関前では、木工製品や生花などを販売しました。ここは山形屋を訪れるお客様のほとんどが通っていくスペースのため、ピーク時はとてもにぎわっていました。館内ではなかなか売りにくい商品も、販売場所を変えることでアピール力が大きく変わることを実感しました。

